

平成 18 年 1 月 17 日

信頼の軌跡、さらなる飛躍。

NIKKE 110th

**NIKKE**  
**NEWS RELEASE**

日本毛織株式会社

コード番号 3201

大阪市中央区瓦町三丁目3-10

<http://www.nikke.co.jp>

## ニッケ110周年コーポレートブランド総合対策のお知らせ

当社は、「コーポレートブランドの展開によるイメージの構築」を2004年～2006年ニッケグループ中期経営計画の課題としております。今年度は中計最終年度にあたり、また12月に110周年を迎えることから、すでに先行の企画とあわせ社会貢献事業を中心に、以下の通り総合的なコーポレートブランド対策企画の展開を行い、企業ブランド認知度向上とイメージの構築を図ってまいります。

### 1) 新シンボルロゴと110周年スローガンの設定

- 当社の従来英文(NIKKE)ロゴをリニューアルし、今後英文ロゴをシンボルロゴとし全面に打ち出します。
- ニッケグループ企業の企業価値を高めイメージを統一するため「NIKKE GROUP」ロゴを設定し関連企業のロゴとして使用します。
- 本年12月3日に創立110周年を迎えるにあたり、周年スローガンを設定し新ロゴと組合せアピールを図ります。

110周年スローガン →

信頼の軌跡、さらなる飛躍。  
NIKKE 110th

上記ロゴ、スローガンは2006年1月より使用し、各種媒体でのPRを行います。

新シンボルロゴとスローガンの詳細は別紙資料①の通り

### 2) 「朝日ニッケ英文エッセーコンテスト」終了に際して記念誌発行

当社は、全国の高校生を対象にメセナ事業として1988年より開始した「朝日ニッケ英文エッセーコンテスト」(高校生オーストラリア研修)を、2005年・第18回にて終了する事としました。当初10年間の計画が18回まで延長する事となり、合計6万8千点の応募と180人のオーストラリア研修生派遣の実績を上げ、国際親善事業として高い評価を受けましたが、交換留学や姉妹校制度など国際交流の機会も多くなり、本企画の使命は十分達成されたとして一区切り付けることとしました。

18年の足跡を記録に残すため、各回優秀賞受賞作品計180編(和訳添付)の掲載と、企画運営の裏方の話や研修生の近況レポートなどを追加し、読み物として幅を広げた記念誌として編集し1月末に発行致します。

「朝日ニッケ英文エッセーコンテスト」記念誌の詳細は別紙資料②の通り

### 3) 新メセナ事業「ニッケ Pure Heart エッセー大賞」の開始

「朝日ニッケ英文エッセーコンテスト」を発展させ、対象を高校、大学、大学院の学生に拡げ新たなメセナ企画として本年5月より「ニッケ Pure Heart エッセー大賞」の開始を計画しております。本企画は、〈今までに感動したこと〉〈ありがとうを感じた時〉〈未来の夢〉などの気持ちを書いたエッセーを募集し、若者の国語力・文章力の向上と、若者らしい純粋な視点を社会に伝える場づくりを目的とします。合わせてイラストコースも設定し、幅広い層からのイラスト参加を募ります。乙武洋匡氏を迎え、審査通過者とのトークセッションと最終審査委員として参画願います。大賞及び優秀作品と、トークセッションダイジェスト及び優秀イラスト作品は、翌年記念本として出版を予定しています。

新メセナ企画概要の詳細は別紙資料③の通り

### 4) 「ニッケ全日本テニス選手権」の冠スポンサーとしての特別協賛

当社事業と関連の深いテニスの支援を通じ日本テニス界のスター選手誕生を応援したいと願い、80回の伝統と“天皇杯”を競う名実ともに国内最高峰のテニス大会に、昨年11月度の第80回記念大会から特別協賛を行う事としました。本戦の入場者数は最多の28,000人となり、また女子シングルスでは、森田あゆみ選手が15才で、大会史上3番目の若さで優勝する等、見所の多い大会として注目を浴びました。

当社におけるテニス関連事業としては、テニスをはじめ多くのスポーツ衣料分野に展開する「スポーツウール」、インドアテニス専用サーフェイス・カーペット「ヴァンセンヌ・ニッケ」、全国8カ所（会員数約10,000人）で展開している「ニッケインドアテニス」などがあります。

### 5) プロテニスプレーヤー「中村藍子選手」との所属契約

「ニッケ全日本テニス選手権」の特別協賛に加え、女子プロテニスプレーヤーの中村藍子選手と昨年10月、2年間の所属契約を結びました。中村選手は世界に大きく飛躍中の女子若手のホープであり、明るく親しみやすいキャラクターは、ニッケグループのイメージ向上にふさわしい選手と判断致しました。契約後の2005年12月に行われた「イザワクリスマスオープン」女子シングルスでは、ニッケ所属選手として初優勝致しました。当社は今後も世界を舞台に活躍される中村藍子選手の応援を通じ、テニススポーツ界の発展に貢献していきたいと考えております。

中村藍子選手のプロフィール詳細は別紙資料④の通り

#### 6) 「加古川マラソン大会」単独協賛

加古川マラソン大会は、加古川市が「ふれあい・情熱・市民の和」をテーマに市民参加型のイベントとして1990年・市制40周年を記念して開催したマラソン大会です。当社は1896年（明治29年）の創業以来、同市と発展をともにし、印南工場・加古川事業所・ニッケパークタウンのほか、多くの関係会社を同市に運営する企業として、大会の趣旨に賛同し初回から単独協賛を行なっております。

昨年は第17回大会となり、招待選手として2004年アテネ五輪女子マラソン金メダリストの野口みずき選手と、早狩実紀選手が参加し、3,400人が出場する伝統ある市民マラソンとして定着してまいりました。

地域社会との交流を深める地域貢献活動として今後も応援してまいります。

この件に関する問い合わせ先  
マーケティング室長 中納 成一  
TEL (06) 6205-6617

## 【 新シンボルロゴとスローガンの詳細 】

## (1) 新シンボルロゴ



新シンボルロゴは、従来のNIKKE（通称ひげニッケ）のイメージをできるだけ温存し、伝統と信頼を重んじる日本毛織（株）のスピリットを継承しつつ、明日へ飛躍していこうという基本姿勢がベースにあります。一目で認知できるようシンプルに視覚化された書体は、力強さとシャープさの中に、どっしりとした安定感を印象づけるオーソドックスなスタイル。また、Nをささえる左下の斜線は「人間」を、右の円は「地球」をそれぞれ象徴。その2つをつなぐ伸びやかなラインは、人間と地球を結ぶ架け橋であり、グローバルなネットワーク社会のリーディングカンパニーでありたい、というニッケの願いが込められています。

## (2) グループ企業ロゴ



ニッケグループ企業の企業価値をさらに高め、イメージの統一を図るため、グループ企業シンボルロゴを設定し、関連企業のロゴとして使用します。

## (3) 110周年スローガンの設定について

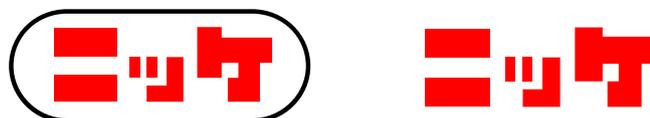
信頼の軌跡、さらなる飛躍。  
NIKKE 110th



創業110周年の記念スローガン「信頼の軌跡、さらなる飛躍。」は、過去の業績を礎に「生活創造企業グループ」として持続的成長を目指す企業姿勢を表現しています。ニッケ社員ならびにグループ企業を対象としたアンケートによって選ばれました。

## (4) 参照

〈カタカナロゴ〉



〈和文社名ロゴ〉

日本毛織株式会社

〈英文社名ロゴ〉

THE JAPAN WOOL TEXTILE Co.,Ltd.

**高校生オーストラリア研修  
朝日ニッケ英文エッセーコンテスト**

**【 記念誌発行について 】**

「朝日ニッケ英文エッセーコンテスト」応募作品から18年間に選ばれた優秀賞180作品は、日本を代表する高校生の考え方や社会環境が浮き彫りになった文化的価値のある英文エッセーであり、作品を一連にまとめ、記念誌として18年の企画の足跡を形あるものに残すことになりました。概要は以下の通りです。

◎構成

挨拶・・審査委員長 明石康氏、西豪州首相 Geoff Gallop 氏、当社相談役 富田勇一  
作品・・18年間の優秀賞180作品（英文＋和訳）

年表・・1988年～2005年

記事・・①受賞者近況→受賞者の進路紹介、本企画が与えた人生への影響など。  
②企画の歴史→歴代審査委員や当社関係者への取材や資料により、企画の経緯、審査方法、時代の変化に伴う企画の変遷・教育環境の変化などを記事にした。  
③編集後記→記念誌発刊のきっかけ、編集協力への謝意、朝日新聞社からの賛辞などを後書風に記載した。

奥付・・発行者→日本毛織株式会社、  
編集制作→朝日カルチャーセンター、  
翻訳→伊藤 真氏

◎部数 2,000冊

◎配布開始 2月初旬～

◎体裁 A4サイズ、モノクロ、約250頁



**朝日ニッケ英文エッセーコンテストとは**

21世紀を担う若者たちに英語力と豊かな国際感覚を身につけてもらう目的で、1988年より文化事業の一環として、朝日新聞社主催の「朝日ニッケ英文エッセーコンテスト」に協賛を開始。当社が事務局としての実務を担った。

文部科学省・外務省等関係機関の後援を得て、全国の高校生から英文エッセーを募集した。学校教材として利用する高校教諭も多く、回を追う毎に知名度もあがり最終回の昨年には6000作品を超える応募があった。

寄せられた作品の上位20名を最終面接によって審査し、優秀賞10名を決定。審査委員長には矢野暢氏(京都大学教授、第1回～3回、1999年逝去)、木村治美氏(共立女子大学教授、第4回～12回)、明石康氏(元国連事務次長、第13回～18回)に就任いただいた。

選ばれた10名は西オーストラリア州パース市での2週間の研修旅行に参加し、ホームステイをしながら現地の高校に通ったり、教育庁や州総督へ表敬訪問するなど現地の人々との交流を通じて国際理解を深めた。そこで育まれた友情は彼らが社会人になっても続いている。

【 新メセナ「ニッケ Pure Heart エッセー大賞」企画概要 】

## ニッケ Pure Heart エッセー大賞

「ニッケ Pure Heart エッセー大賞」は「朝日ニッケ英文エッセーコンテスト」を発展させ、若者の国語力・文章力向上と、若者らしい純粋な視点を社会へ伝える場づくりを目的とし、感動・夢・希望をテーマに日本語エッセーを募集いたします。また、イラストコースも設定し、2002年より4年間実施した羊のキャラクター・イラスト大賞の企画リニューアルという形でイラストを募集いたします。エッセー・イラストともそれぞれ入賞作品は記念本に掲載し出版いたします。

◎ テーマ 「等身大の Pure Heart」(仮)

<今までで一番感動したこと><ふとした瞬間感じたありがとう><日頃から思っていること><未来への夢>など、ありのままの気持ちをエッセーで表現。

◎ 応募概要

対象：高等学校、専門学校、予備校、大学、大学院に在席の学生

規定：800字程度での日本語エッセー。

賞：大賞1名、優秀賞10名、入賞89名 等

\*イラストコース\*

対象：年齢・職業不問

規定：エッセーと同テーマとしたイラスト

賞：大賞1名、優秀賞5名、入賞94名 等

◎ 実施スケジュール(案)

2006年5月初旬	募集告知開始
2006年11月上中旬	最終選考(ゲスト審査員によるトークセッション)
2006年11月下旬	優秀作品発表
2007年3月末	記念本の出版(優秀作品、トークセッションダイジェスト)

◎ 乙武洋匡氏のトークセッションと審査



「ニッケ Pure Heart エッセー大賞」の審査員には、ポジティブな生き方で多くの人々に大きな感動と共感を与えた乙武洋匡氏に参画願い、エッセー大賞を決める最終審査会に参加していただきます。

また、乙武氏にはトークセッションのコーディネーターとして、エッセーコース予選通過者(20名程度)と直接対話していただきます。トークセッションの様子は記念本に掲載される他、インターネット上での放映を予定しています。



【 中村藍子選手のプロフィール 】

- ◎ 氏 名 中村 藍子 (なかむら あいこ)
- ◎ 生年月日 1983年12月28日
- ◎ 出身地 大阪市天王寺区
- ◎ ランキング WTAランキング シングルス 62位  
JOPランキング シングルス 4位

<参考>世界ランキング推移

02年 4月 682位 (プロデビュー)	05年 2月 99位
12月 309位 (373位up)	7月 83位
03年 6月 284位	9月 74位
12月 229位 (80位up)	10月 65位 (66位up)
04年 4月 199位	12月 71位
12月 131位 (98位up)	06年 1月 62位 (1/10現在)

- ◎ 主な戦歴 05 イザワクリスマスオープン シングルス 優勝
- 05 全豪オープン 本選2回戦 05 全仏オープン 本選1回戦
- 05 全米オープン 本選2回戦 05 ウィンブルドン 本選2回戦
- 05 フェド杯 日本代表 05 ニッケ全日本テニス選手権ベスト8
- 04 全日本テニス選手権大会 シングルス 準優勝、混合ダブルス 優勝

